

科目名称：	特別支援教育の理解Ⅱ	
担当者名：	太田 望	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>今までの生活や、実習等を通して気になってきた困り感のある子どもについて、特別支援教育の視点で考える。体験やディスカッションをする中で、気づきを深めたい。また、グループワークやフィードバックを行うことで、支援が必要な子どもに対して、教員同士やその他の機関がチームとして関わる必要性に気付けるようにしたい。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>子ども理解を深め、必要に応じた支援を考えようとするができる。 教員同士やその他の機関がカンファレンスを行うことを、グループワークやフィードバックを通じて経験し、その必要性を知ることができる。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)	50		40	10	100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 特別支援学校講師	《経験年数1》 1年
	《内容2》 特別支援学校教諭	《経験年数2》 6年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
<p>出題される問を、これまでの授業で学んだ知識を用いて、特別支援教育の視点で捉えていく。担当教員は、特別支援学校の中学部・高等部での勤務経験があり、そこであったエピソード等を紹介するので、園での保育における特別支援教育の考え方に役立ててもらいたい。</p>

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
支援への理解度	専門知識を活用し、具体的に子どもの困り感への支援を考え、ワークシートを書いている。	具体的な内容で、子どもの困り感への支援を考え、ワークシートを書いている。	具体的な内容には少々欠けるが、ワークシートを書いている	ワークシートを書くことができていない。
グループワークやフィードバックを活用する力	グループワークに参加し、フィードバックを取り入れて知識を増やしている。	グループワークに参加している。フィードバックを取り入れようとしている。	グループワークに参加してはいるが、フィードバックを取り入れない。	グループワークへの参加やフィードバックの活用が見られない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 困り感のある子どもについて① ディスカッション・グループワーク	実習や実生活において出会った困り感のある子どもについて考え、ワークシートにまとめること。	30分
第2回 困り感のある子どもについて② ディスカッション・グループワーク	実習や実生活において出会った困り感のある子どもについて考え、ワークシートにまとめること。	30分
第3回 困り感のある子どもについて③ ディスカッション・グループワーク	実習や実生活において出会った困り感のある子どもについて考え、ワークシートにまとめること。	30分
第4回 困り感のある子どもについて④ ディスカッション・グループワーク	実習や実生活において出会った困り感のある子どもについて考え、ワークシートにまとめること。	30分
第5回 困り感のある子どもについて⑤&合理的配慮について ディスカッション・グループワーク	実習や実生活において出会った困り感のある子どもについて考え、ワークシートにまとめること。	30分
第6回 スケジュール作成と環境デザインと視覚支援① ディスカッション・グループワーク	スマートフォンやPC等を用いてスケジュールや環境デザインの事例を調べる。	30分
第7回 スケジュール作成と環境デザインと視覚支援② ディスカッション・グループワーク	スマートフォンやPC等を用いてスケジュールや環境デザインの事例を調べる。	30分
第8回 スケジュール作成と環境デザインと視覚支援③ ディスカッション・グループワーク	スマートフォンやPC等を用いてスケジュールや環境デザインの事例を調べる。	30分
第9回 体験ワークショップ① ディスカッション・グループワーク	体験ワークショップを通して、理解し、ワークシートに述べる。	30分
第10回 体験ワークショップ② ディスカッション・グループワーク	体験ワークショップを通して、理解し、ワークシートに述べる。	30分
第11回 体験ワークショップ③ ディスカッション・グループワーク	体験ワークショップを通して、理解し、ワークシートに述べる。	30分
第12回 障害者スポーツの理解と実践 ディスカッション・グループワーク	障害者スポーツについて興味をもち、ワークシートに述べる。	30分
第13回 学級経営と保護者対応 ディスカッション・グループワーク	教科書を読み込んで、学級経営や保護者対応について考える。疑問点をもつ。	30分
第14回 他職種との連携の必要性 ディスカッション・グループワーク	教科書を読み込んで、他業種について考える。疑問点をもつ。	30分
第15回 就学支援 ディスカッション・グループワーク	教科書を読み込んで、就学支援について考える。疑問点をもつ。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
ワークシート40% グループワーク等の積極的参加や活用10%

課題に対するフィードバック

感想、提出物はコメントをつけてフィードバックする

教科書・参考書

教科書：小林徹 栗山宣夫 『シリーズ 知のゆりかご ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』(株式会社 みらい)(読み込むことで、特別支援教育についての知識・支援方法・エピソード等を知る)
プリント配布(授業の流れを知る・書き込むことで知識の定着を図る)